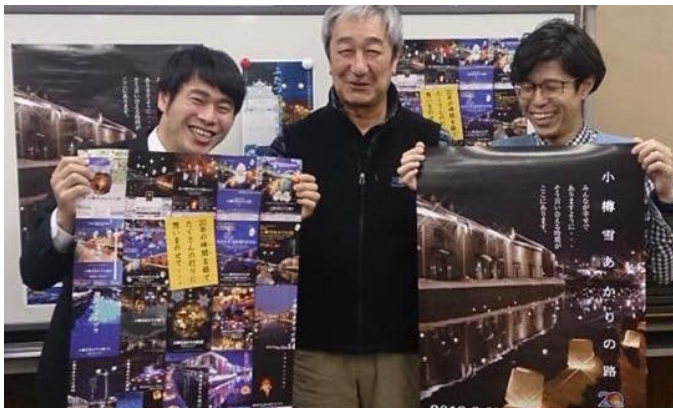


あんてつ通信第53号

2018年1月15日発行



2018年もよろしくお願いします。

新年が明けました。皆様、昨年中は大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。最初の通信では、昨年12月に開かれた議会とまちづくり活動についてご報告致します。

除雪と組織変更などについて質疑。



12月の第4回定例会では、12日・13日で質疑及び一般質問を致しました。市長による組織変更で人件費が3,700万円増額された

こと、入札一ヶ月前に突如、地区分割をし除雪費が増額させたことの問題点を指摘しました。業者のために費用が増額するなら、それを市道の排雪費に充てた方がよっぽど市民のためになると主張したのですが、市長は「性質は合わない」と意味不明な答弁をし、全く理解出来ませんでした。

19日の総務常任委員会では、所管となる組織変更や新・市民プールなどについて質疑しました。なお、市長が副市長の辞任表明の次の日に、市議選立候補を表明しているもののまだ一般市民である方と辻たちしていたことについて質問したところ、市長が答弁出来なくなり中断しました。

仕事納めまで議会が延長に。

本来の定例会最終日は25日でしたが、市長答弁により中断し26日に延長となった上に、ある無所属議員の発言で紛糾し、28日までずれ込みました。市長提案の議案や予算案は可決しましたが、再度の辞職勧告決議の討論中において問題が発生し、延会が続きました。これにより、その議員は、指摘された3点の発言のうち1つは訂正、残り3つは取り消しました。取り消しとなった発言のうち、議員に対し「3年近くなりますが、その公約のうち、一つでも実現できましたか。私の知る限り、そんな話聞いたことがありません」がありました。

それぞれ議員がいますが、私については公約に沿って教育費の充実はじめ子ども条例の制定を訴えるとともに民間借上住宅が制度化されているのもあり「一つも実現していない」は嘘になります。公の場では正確性ある発言をお願いしたいと思いますし、私自身も引き締めてこれからも議会発言をしていきたいと思ひました。

手宮座談会で出席させて頂きました。

11月14日、「おたる千成」さんで開かれた小樽商科大学「小樽・後志のひとに学ぶ」プロジェクト手宮編に出席させて頂きました。定員40名のところ倍以上の90名が来場されました。パネラーの皆様はじめご来場の皆様は大先輩ばかりで、何を話せば良いのか頭を悩ませました。しかし、タイトルにある「小樽のひとに学ぶ」は、私にとって「小樽のひとから学べ」というメッセージだと思ひ僭越ながら質問に答える形で、手宮との関わりや子ども時代の話、そしてこれからについて語らせて頂きました。

今回のように大変貴重な機会を頂けて本当にありがとうございます。この場を借りて企画して下さいました関係者の皆様、そして手伝いをし手宮の地に足を運び学んでくれた学生たちに感謝を申し上げます。次はどこのまちで開かれるのか楽しみです。

オリンピック選手による水泳教室。



11月18日は、会長を務める小樽水泳協会主催で、小樽ゆかりのロンドンオリ

ンピック選手・外館祥さんをお迎えした水泳教室を開催致しました。今年で3年目となりますが、オリンピックレベルの泳ぎをご披露頂くとともに図解してくれるとても貴重な時間です。協会としては、今後も、市民プールがなく環境の悪い中においても小樽にいながらでも可能な限りの競技力向上に努めて参りたいと思っています。

元我孫子市長による勉強会。

12月2日、元千葉県我孫子市長の福嶋浩彦さんの勉強会「人口減少社会のまちづくり」に参加しました。若手市議会議員の会の恵庭市議会の柏野議員にご案内を頂きました。2040年問題を迎えるにあたりどんな視点で考え行動し地域社会を守っていくべきか勉強させて頂きました。

雪あかりの路実行委が発会。



12月25日、第20回小樽雪あかりの路実行委員会の発会式が行われました。これから準備が本格化します。小樽市民

の風物詩として改めて市民みんなで火をともしていきたいと思っています。

並木局長の手腕で分娩再開へ。

市長発言で答弁調整・空転、市長が制度を変えれば後援会絡みの問題になるなど混迷を極めている小樽市ですが、二代前の山田勝麿元市長時代に交渉し事業管理者（病院局長）に就任した並木昭義局長（札医大）の手腕によって、来春から協会病院に産婦人科医の派遣が決定し、久しぶりに明るい話題が降り注ぎました。並木局長の経歴は省略させて頂き

ますが、就任当時は、公立病院の経営悪化が著しく、また二つの病院を統合新築させるために病院経営経験のある並木氏に着任してもらいました。その手腕はもとより人望の厚さ人柄から、医師の退職による診療科休止が相次ぎ火だるま状態であった小樽市立病院の再建を進めてこられました。今回、札幌医科大学から6名の産婦人科医のうち3名が派遣されることが決定。多くの関係者のご協力があったこそですがまさに並木局長のお力添えが十二分に発揮されたものと思います。再開の目処がつき、12月議会においても小樽市はじめとする関係町村とで整備予算を議決しました。今後、産まれた子どもたちがいかに安心安全に育ち、そしてより良い環境で過ごしていけるか議会議論して参ります。

【12月】

- 2日 元我孫子市長による勉強会に参加
- 3日 「たるBOOK」による絵本カフェに参加
- 5日 小樽市議会第4回定例会開会（提案説明）
- 10日 海洋少年団餅つきに参加
- 11日 代表質問（12日も）
- 13日 質疑及び一般質問
- 14日 予算特別委員会（15日・18日）
- 19日 各常任委員会（総務常任委員会空転）
- 20日 学校適正配置等調査特別委員会
- 21日 総務常任委員会（積み残し分）
- 25日 本会議（延会決定）、雪あかりの路実行委員会
- 26日 本会議（採決も無所属議員の発言で中断）
- 29日 水泳協会の年末合宿（31日まで）

※毎週土曜日は朝6時半から運河清掃を実施中です。

第9回あんとつと語る会

2月24日（土）15:00～17:00

小樽市民センター5号会議室 活動報告と意見交換をさせていただきますので、ご来場お待ちしております。

編集発行：安斎哲也 携帯：090-1642-2012

Email：te28anzai@gmail.com

HP：<http://te28anzai.com/>